# 共同印刷株式会社 会社説明会資料



(証券コード: 7914)



2024年12月5日/日経茅場町カンファレンスルーム

# I 会社概要



# 会社概要

社 名	共同印刷株式会社		
本社所在地	東京都文京区小石川4-14-12		
設 立	1925(大正14)年12月 ※創業1897(明治30)年6月		
資 本 金	45億1千万円		
従業員数	連結3,227名 単体1,872名 (契約社員含まず/2024年3月31日現在)		
上場市場	東京証券取引所 プライム市場 (コード:7914)		



# 沿革

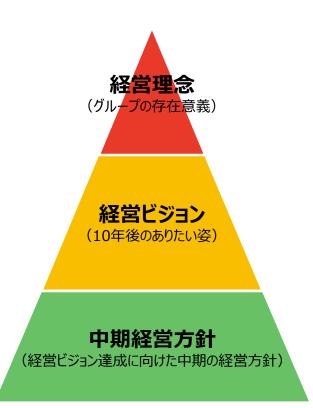
1897年 (明治30)	創業:博文館主大橋佐平、現在の銀座6丁目に博文館印刷工場を創設
1898年 (明治31)	現在の所在地である東京都文京区小石川に移転
1925年 (大正14)	設立: 博文館印刷所と精美堂が合併し共同印刷株式会社発足
1964年 (昭和39)	小田原工場竣工:関東地区におけるラミネートチューブ製造拠点
1981年 (昭和56)	鶴ヶ島工場竣工:ビジネスフォーム・証券類・カード製造拠点
1987年 (昭和62)	守谷工場竣工:紙器・軟包装・高機能フィルム製造
1991年 (平成3)	和歌山工場竣工:関西地区におけるラミネートチューブ製造拠点
1993年 (平成5)	五霞工場竣工:週刊少年ジャンプを中心とする出版商業印刷の生産拠点
2002年 (平成14)	川島ソリューションセンター竣工:データプリント・BPO拠点
2007年 (平成19)	播磨坂スタジオ竣工:キッチンスタジオを有する撮影スタジオ
2015年 (平成27)	ベトナム工場竣工:ASEAN初のラミネートチューブ製造拠点
2017年 (平成29)	インドネシアのArisu社連結子会社化: ASEANでのラミネートチューブ事業拡大
2019年 (平成30)	共同ブローボトル連結子会社化 : ブローボトル製造拠点
2022年(令和4)	小石川本社 新社屋竣工



# 経営理念と経営ビジョン

経営理念は、創業以来受け継がれてきた"事業を通して社会の持続的な発展に貢献したい"という思いを表したものです。

2018年度に"10年後のありたい姿"を示した経営ビジョンを策定しました。経営ビジョンの達成をめざし、現在2期目となる2021~2024年度中期経営計画を実行中です。



## •経営理念

一印刷事業を核に、 生活・文化・情報産業として社会に貢献する

## ・経営ビジョン

─私たちは、 誠実なコミュニケーションと市場をリードする技術力で お客さまの思いをカタチにし、 新たな価値を創出し続ける企業グループをめざします。

## ·中期経営方針(2021~2024年度)

豊かな社会と新たな価値を創造するために 未来起点の変革に挑戦

# CI(コーポレートブランド)

2017年の創業120周年を機に、新たなコーポレートブランドを策定しました。

コーポレートブランド 「TOMOWEL」 コーポレートメッセージ「共にある、未来へ」

# TOMOWEL

共にある、未来へ

TOMOWELは、「共に良い関係を築く」という意味を込めて名付けられました。

日本語の「とも(共・友・知・智)」と、

英語の「WEL(Wellの古語:良い・満ちる・親しみ)」を合わせて

創った言葉です。

「共(とも)」は、共同印刷の「共」でもあります。

私たちのアイデンティティの核であり、

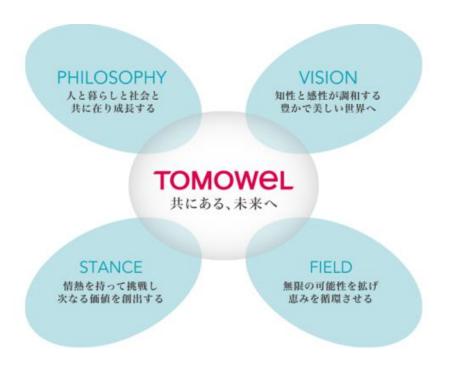
社会における存在価値、そして理想の姿勢を表す言葉であり、

創り出したい未来そのものです。

「関わるすべてと共に良い関係であり、未来を創り拡げていく」 TOMOWELに込めた私たちの想いです。

## グループ全体のあるべき姿 「TOMOWEL WAY!

※TOMOWELに基づいたグループ社員の行動指針





## 役員一覧





- ① 代表取締役社長
- ② 取締役 副社長執行役員
- ③ 取締役 副社長執行役員
- ④ 取締役 常務執行役員
- 5 社外取締役
- 6 社外取締役
- ⑦ 社外取締役
- ⑧ 常勤監査役
- 9 常勤監査役
- ⑩ 社外監査役
- ① 社外監査役

- 藤森 康彰 (ふじもり よしあき)
- 渡邉 秀典 (わたなべ ひでのり)
- 大橋 輝臣 (おおはし てるおみ)
- 髙橋 孝治 (たかはし たかはる)
- 髙岡 美佳 (たかおか みか)
- 内藤 常男(ないとう つねお)
- 光定 洋介(みつさだ ようすけ)
- 秋元 秀夫 (あきもと ひでお)
- 土井 晴之(どい はるゆき)
- 古谷 昌彦(ふるたに まさひこ)
- 新島 由未子(にいじま ゆみこ)

(2024年6月27日現在)

## TOMOWEL

出版印刷

商業印刷

電子書籍

ビジネスフォーム

BPO

ICカード

証券類

パッケージ

(紙器·軟包装)

ラミネートチューブ

ブローボトル

高機能材料

## 組織体制

技術開発本部 IT統括本部

企画·開発 部門

監查室

秘書室

経営企画本部

経営企画部

戦略推進部

関連事業推進部

サステナビリティ推進室

DX推進室

グループコーポレート本部

経理部

法務部

コーポレートコミュニケーション部

人事部

資材部

生産統括本部

生産統括部

施設部

情報コミュニケーション

情報メディア事業部 プロモーションメディア事業部 ビジネスマーケティング部

コミュニケーションデザインセンター

コスモグラフィック

共同印刷メディアプロダクト

デジタルカタパルト

事業部門

情報セキュリティ

セキュリティテクノロジーセンター ビジネスメディア事業部

交通事業部

共同印刷西日本

TOMOWEL Payment Service

管理部門

その他

共同物流

TOMOWELビジネスパートナー 共同印刷ビジネスソリューションズ 生活·産業資材

包装事業部 L&I事業部

共同NPIパッケージ

共同ブローボトル

共印商貿(上海)

KYODO PRINTING (VIETNAM) PT Arisu Graphic Prima

※事業部門は事業部と主な子会社を記載

# 事業拠点

情報コミュニケーション部門

情報セキュリティ部門

生活·産業資材部門

その他(グループ会社など)

- (株)コスモグラフィック / 苫小牧工場⇒ブリブレス、デジタル印刷
- ② 常磐共同印刷(株)⇒建装材印刷、ブローチューブ製造、ほか
- 3 共同ブローボトル(株)
  ⇒ブローボトル製造
- ⑤ 鶴ヶ島工場⇔カード製造・発行、証券印刷
- ⑦ 守谷工場/共同NPIパッケージ(株)⇒紙器・軟包装
- ・ 共同物流(株)/首都圏物流センター

  ⇒輸送、梱包・保管、アセンブリ
- ・ 小田原工場⇒ラミネートチューブ製造
- (12) 共同印刷西日本(株)
- ③ 京都工場 ⇒ビジネスフォーム、データブリント、BPO
- 心和歌山工場

  ⇒ラミネートチューブ製造



- ・デジタルカタバルト
- ·TOMOWEL Payment Service
- ·TOMOWELビジネスパートナー
- ・共同印刷ビジネスソリューションズ



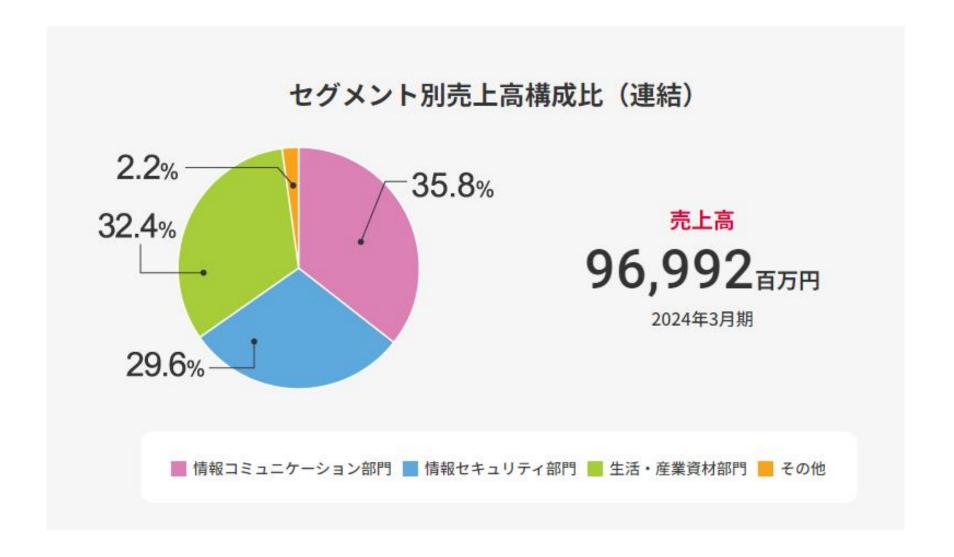
- (E) 共印商貿(上海)有限公司 (KYODOPRINTING (SHANGHAI) CO. LTD.)⇒機能性包装材料を中心とした販売および輸出入
- KYODO PRINTING (VIETNAM) CO. LTD. □ラミネートチューブ製造
- PT. Arisu Graphic Prima Surabaya ⇒ラミネートチューブ製造・ほか
- PT. Arisu Graphic Prima Karawang ⇒ラミネートチューブ製造

# Ⅱ 事業紹介

(主要な製品・サービス)



# セグメント別売上高





## 情報コミュニケーション







雑誌•書籍

出版社の販促品・キャラクターグッズの制作

店頭用販売什器·POP

## ■出版印刷

- ○集英社の「週刊少年ジャンプ」を1968年の創刊時から受注してきたことから、まんがに関連する分野に強み
- ○図鑑・絵本などの児童書分野も得意
  - ・出版物の販促キャンペーン企画、まんが・アニメ関連のイベント企画、映画の入場者特典制作
  - ・デジタルコミックアプリ向けのコンテンツ制作

## ■一般商業印刷

- ○自社スタジオと制作チームを有し、カタログや情報誌を企画〜撮影〜編集〜製造まで 一貫生産できる体制が強み
- ○店頭販促分野に強く、特に販促什器については化粧品・日用品メーカーや家電メーカーから高い評価



# 情報セキュリティ



■データプリント、BPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)

- 証券類(宝くじなど)
- ○高度なセキュリティ環境を持つ自社工場内にて、顧客情報を専用プログラムで編集し、 データプリント〜封入封緘〜発送までワンストップで提供
- ○データプリント周辺の事務作業、システム構築、顧客対応などの業務を一括受託するBPOの提供
- ○自治体・金融機関中心に、業務改善、ペーパーレス化を支援するシステム開発・運用の受託拡大に注力
- ■ICカード・乗車券/宝くじ
  - ○各種ICカードの製造・発行と関連するソリューションを提供、特に交通系ICカードはトップシェア
  - ○各種宝くじの製造および特急券をはじめとする乗車券用紙の製造で高いシェア
  - ○グループ会社のTOMOWEL Payment Serviceが、法人向け小口決済システム「Bizプリカ」を提供



# 生活·産業資材







モイストキャッチ®と使用製品イメージ

各種パッケージ

ラミネートチューブ・ブローチューブ

- ■パッケージ(紙器・軟包装)
  - ○食品や日用雑貨、医薬品などのパッケージ製造、商品のネーミングやパッケージデザイン、販促プランなども提案
  - ○使いやすく安全性に配慮した設計や、リサイクル適性、省プラスチックなど環境へ配慮した包装材の開発
- ■チューブ (ラミネートチューブ・ブローチューブ)・ブローボトル
  - ○ラミネートチューブ製造の国内トップメーカーとして、化粧品・医薬品・歯磨き・食品向けのチューブ容器を提供
  - ○ベトナムとインドネシアに製造拠点を持ち、ASEAN地域に高い品質のラミネートチューブを提供
- ■産業資材(高機能フィルム)
  - ○医薬品やエレクトロニクス部品向けに高機能フィルムを提供
  - ○基盤となる樹脂にさまざまな機能性素材を練りこみ、高い機能性を持つフィルムを製造 現在、この技術をもとに多様な製品開発を推進

# Ⅲ 2025年3月期中間期の業績概要



# 2025年3月期第2四半期(中間期) 決算ハイライト

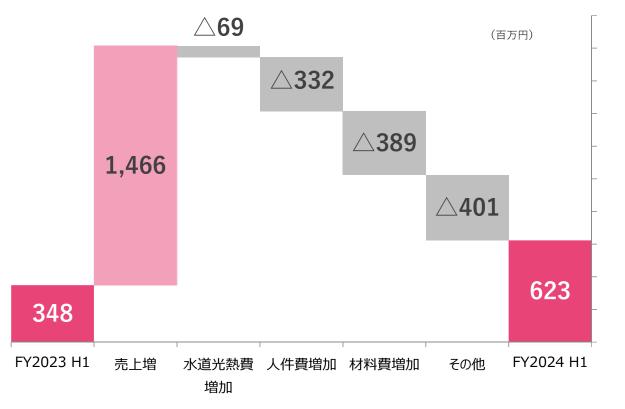
交通系ICカードや乗車券などの需要増およびラミネートチューブや紙器・軟包装の増加、 価格転嫁の進展により増収増益。投資有価証券の売却により中間純利益も増加。

#### (百万円)

	2024年3月期 H1実績	2025年3月期 H1業績予想	2025年3月期 H1実績	<b>前年同期比</b> (増減率)
売上高	45,741	49,000	48,183	<b>+2,441</b> (+5.3%)
営業利益	348	500	623	<b>+274</b> ( +78.8% )
経常利益	694	800	918	<b>+224</b> (+32.3%)
親会社株主に帰属 する中間純利益	335	350	870	<b>+534</b> (+159.2%)



## 営業損益の増減分析



√ 売上増

価格転嫁による増は約6.2億円

- ✓ 水道光熱費増加 電力価格上昇が主要因
  - / 材料費増加
- ✓ 人件費増加 ベア等の賃金水準底上げ
- ✓ その他 減価償却費の増加など



## 情報コミュニケーション部門

売上構成比 **33.0%** 

(単位:百万円) 前年同期比 業績予想比

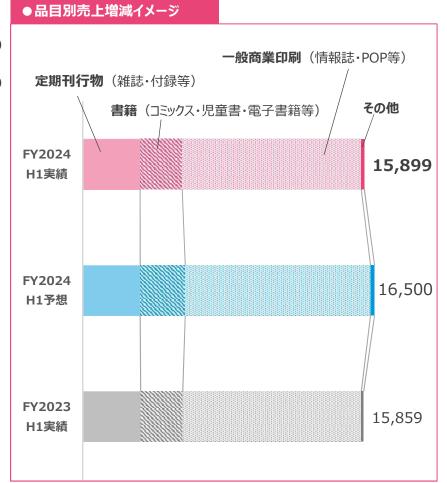
売上高 : 15,899 ( +0.3% △3.6% )

**営業利益**: △**446** ( +46 △46 )

※業績予想比は2024年5月15日開示の業績予想との比較

#### ●業績のポイント

- ・出版印刷は、ほぼ想定通りに進捗し、価格転嫁も進展。
- ・電子書籍は9月末で電子書店「ソク読み」を譲渡。 今後はオリジナル作品の制作・販売に注力。
- ・一般商業印刷は、Web案件などは好調に推移するも、 POPなど店頭販促分野が減少。想定通りに進捗せず。
- ・今後、採算性を重視した受注活動をさらに推進。
- ・2025年3月末でグループ会社の苫小牧工場を閉鎖し、小石川事業所へ統合。生産体制の再構築を進める。





## 情報セキュリティ部門

売上構成比 **31.8%** 

(単位:百万円) 前年同期比 業績予想比

売上高: 15,298 (+12.7% △1.3%)

営業利益: 1,162 ( +376 +462 )

※業績予想比は2024年5月15日開示の業績予想との比較

#### ●業績のポイント

- ・自治体向けデータプリントが伸長。
- ・今後、金融機関向けDX支援サービスやヘルスケア領域で BPOの拡大をめざす。
- ・旅客需要の拡大に伴い、乗車券や交通系ICカードが増加。 増産に向け生産体制を強化したことが収益力強化に貢献した。
- ・価格転嫁への取り組みや外注費比率の減少もあり、 営業利益が伸長した。

#### ●品目別売上増減イメージ





## 生活·産業資材部門

売上構成比 **33.1%** 

(単位:百万円) 前年同期比 業績予想比

売上高: 15,959 ( +4.4% △0.3% )

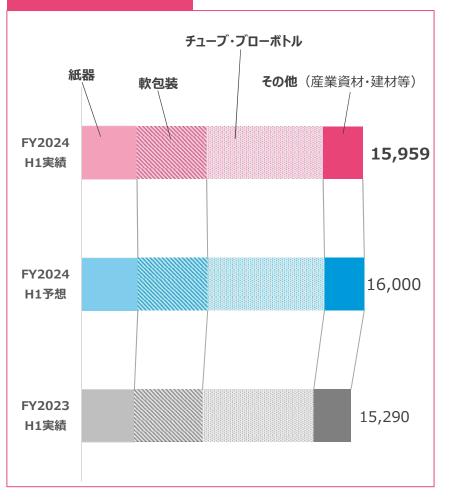
営業利益: 465 ( +39 △134 )

※業績予想比は2024年5月15日開示の業績予想との比較

#### ●業績のポイント

- ・食品分野を中心に軟包装が増加。紙器はティシューカートンの需要が堅調で前年同期を上回り。
- ・チューブは、歯磨き向けが減少したが、化粧品向けおよび 海外での需要が好調だったため、増加した。
- ・ブローボトルも堅調に推移し前年同期を上回り。
- ・産業資材は医薬品向けが減少し、前年同期を下回り。
- ・原材料価格の上昇に価格転嫁への取り組みが追い付かず、 営業利益は前年同期を上回るも業績予想比で下回りとなった。

### ●品目別売上増減イメージ





# その他

売上構成比 **2.1%** 

(単位:百万円) 前年同期比 業績予想比

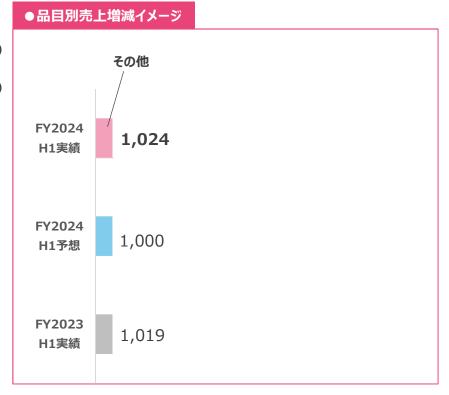
売上高 : **1,024** ( +0.5% +2.4% )

営業利益: △57 ( △83 — )

※業績予想比は2024年5月15日開示の業績予想との比較

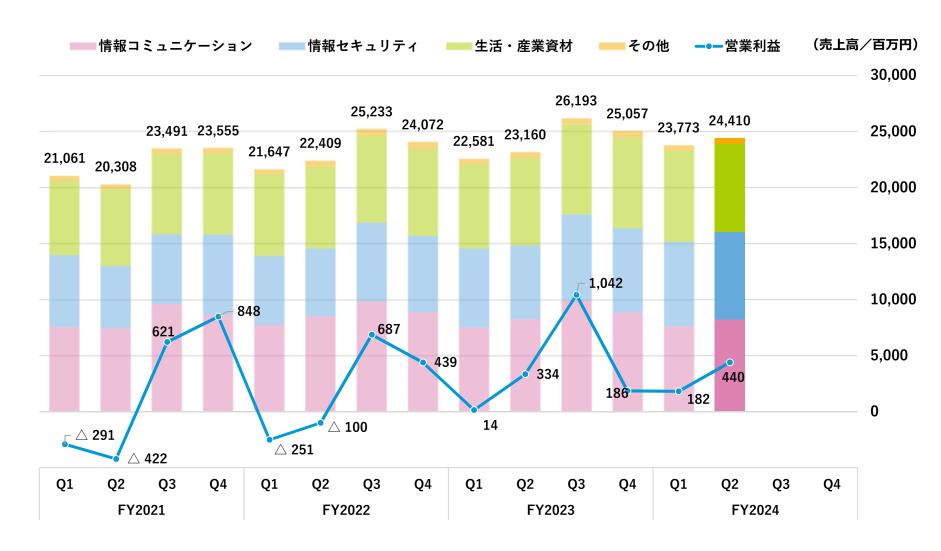
## ●業績のポイント

・全体の売上高は想定通りに推移したが、物流に関連する コストの上昇により営業赤字となった。





## 四半期業績の推移

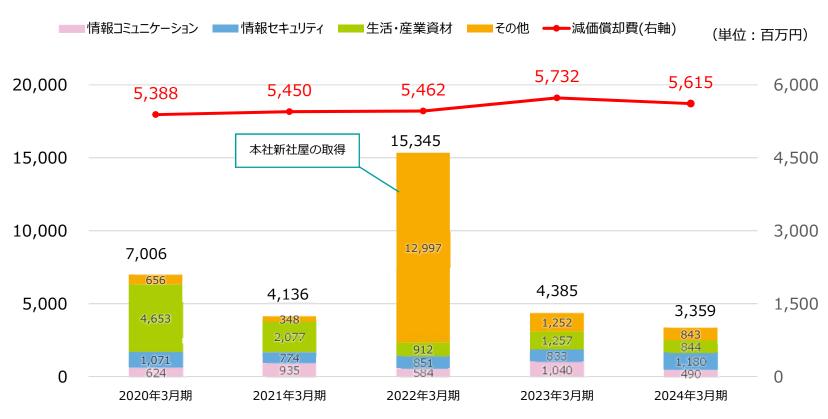


注:2021年度期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しております。



## 設備投資·減価償却費

大型の設備投資は一段落し、設備の維持・更新対応が中心 各製造拠点における生産効率向上、環境対応に向けた設備導入等を実施



※グラフの設備投資額は完成ベース



# (参考) 貸借対照表

(単位:百万円)

	2023年3月期 期末	2024年3月期 期末		
流動資産	45,912	48,074	47,536	△537
固定資産	77,558	83,741	81,674	△2,066
資産合計	123,471	131,815	129,211	△2,604
流動負債	33,800	28,504	27,315	△1,188
固定負債	31,951	40,190	38,690	△1,500
負債合計	65,751	68,695	66,005	△2,689
株主資本	51,919	51,500	52,014	514
その他の包括利益累計額	5,770	11,581	11,154	△427
非支配株主持分	30	38	36	△1
純資産	57,720	63,120	63,205	85
負債純資産合計	123,471	1,471 131,815 <b>129,211</b> △2,60		△2,604
自己資本比率	46.7%	47.9%	48.9% 1.	



# (参考)キャッシュ・フロー計算書

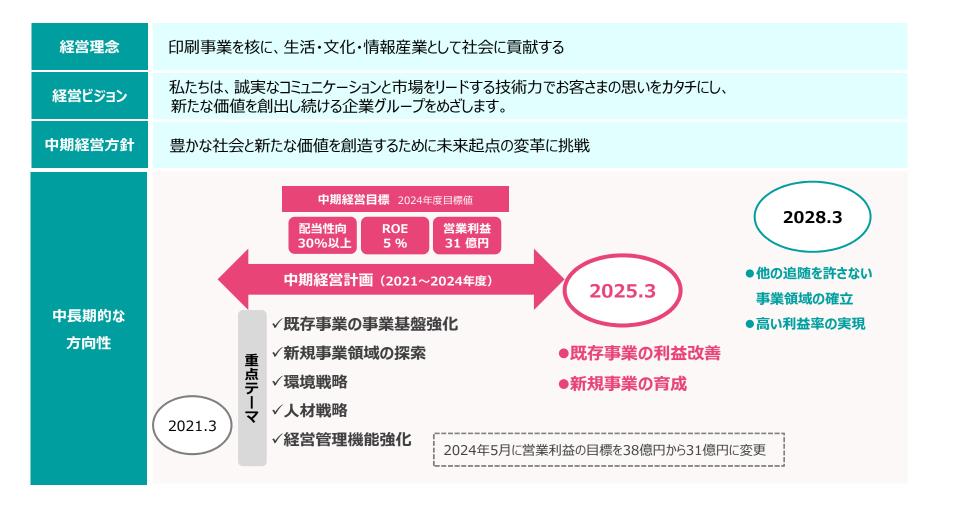
(単位:百万円)

	2023年3月期 H 1	2024年3月期 H 1	2025年3月期 H 1
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,923	△839	2,393
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,295	△1,737	<b>△1,229</b>
フリーキャッシュ・フロー	14,628	△2,577	1,164
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,689	6,235	199
現金及び現金同等物に係る換算差額	△53	△12	32
現金及び現金同等物の増減額	5,884	3,645	1,395
現金及び現金同等物の期首残高	8,890	10,500	10,944
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,775	14,146	12,339

# N 2021~2024年度 中期経営計画について

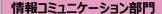


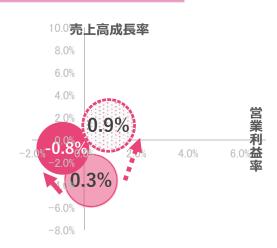
# 2021~2024年度中期経営方針





# セグメント別の動向





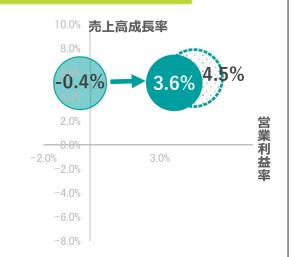
出版印刷の縮小が続き売上高は減少。原材 料価格の高騰により利益率が悪化しているが 価格転嫁による改善に取り組む。グッズやイベ ント企画、プロモーションなど「非印刷」の受注 拡大に取り組む。

#### 情報セキュリティ部門



乗車券・交通系ICカードを中心に売上高が 回復。生産設備の強化も奏功し、利益率は 改善傾向。 金融・ヘルスケア分野でのBPO拡 大をめざす。

#### 生活·産業資材部門



原材料やエネルギー価格ト昇分についての 転嫁が進み、売上高・利益ともに拡大した。 環境配慮製品の開発による受注拡大および ASEANでのチューブ事業拡大をめざす。

情報セキュリティ部門および生活・産業資材部門については、原材料やエネルギー価格の上昇、 人件費の高騰などのコスト増はあるものの、売上高・利益率ともにほぼ中期経営計画の目標に 沿って進捗している。

情報コミュニケーション部門については、紙媒体需要の急激な需要減少と価格転嫁の遅れ、一 般商業印刷分野の伸び悩みにより、収益性改善が想定通りに進んでいない。

円 の 色:淡 色:2020年度売上実績

点線囲み:2024年度売上目標 色:2023年度実績

円の大きさ:売上高 円内の数値:営業利益率

売上高成長率 (縦軸)

色: 2018~20年度CAGR 点線囲み: 2021~24年度CAGR 色: 2021~23年度CAGR

# V 2025年3月期業績見通し



# 2025年3月期 業績予想

## 一般商業印刷や決済ソリューション事業の進捗遅れなどを踏まえ、通期予想は据え置き

		第2四半期(中間期)			<b>通期</b>	拉位:百万円)	
		業績予想	実績	対業績予想 (増減率/額)	前年実績	業績予想	(伸長率)
売上高		49,000	48,183	(△1.7%)	96,992	104,000	(+7.2%)
	情報コミュニケーション	16,500	15,899	(△3.6%)	34,714	35,000	(+0.8%)
	情報セキュリティ	15,500	15,298	(△1.3%)	28,697	33,000	(+15.0%)
	生活·産業資材	16,000	15,959	(△0.3%)	31,464	33,500	(+6.5%)
	その他	1,000	1,024	(+2.4%)	2,116	2,500	(+18.1%)
営業利	<del>益</del>	500	623	(+123)	1,577	3,100	(+1,522)
	情報コミュニケーション	△400	△446	(△46)	△286	300	(+586)
	情報セキュリティ	700	1,162	(+462)	1,347	2,000	(+652)
	生活·産業資材	600	465	(△134)	1,138	1,600	(+461)
	その他(調整分含む)	△400	△558	(△158)	△620	△800	(△179)
経常利	<b>益</b>	800	918	(+118)	2,083	3,600	(+1,516)
	株主に帰属する 中間)純利益	350	870	(+520)	1,495	3,250	(+1,754)

# VI 株主還元施策

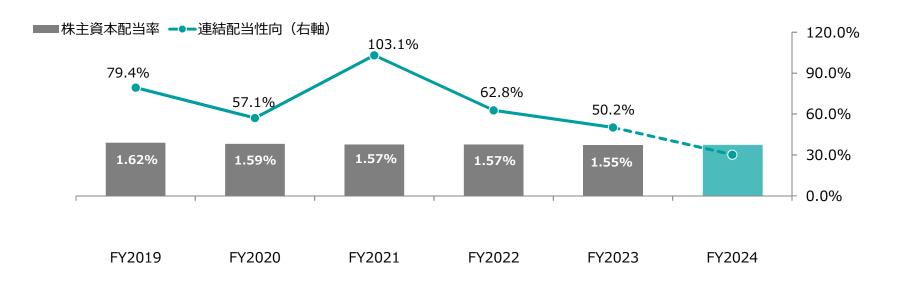


## 配当予想

## ● 2025年3月期の配当について

- ・2025年3月期の中間配当は1株あたり55円
- ・2025年3月期の配当は当初予想から変更なし以下の方針に基づき、1株あたり135円(中間55円期末80円)の見通し

配当方針:利益配分につきましては、株主の皆さまへの安定的・継続的な利益還元を重視しつつ、 企業体質の強化に向けて必要な内部留保とあわせて総合的に判断しており、配当は、連結業績、配当性向のほか、 株主資本配当率(DOE)の視点等も踏まえて決定します。(中期経営計画においては配当性向30%以上を目標)





## 自己株式取得

## 自己株式取得の目的

経営環境に応じた機動的な資本政策の遂行および資本効率の向上を通じて株主利益の向上を図る

### ●2024年11月8日開催の取締役会における決議内容

(1) 取得対象株式の種類 普通株式

(2) 取得し得る株式の総数 350,000株(上限) ※発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 4.6%

(3) 株式の取得価額の総額 1,000,000,000円(上限)

(4) 取得期間 2024年11月11日から2025年5月30日まで

(5) 取得方法 ①東京証券取引所における市場買付け

②東京証券取引所の自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)による買付け

### ●上記取締役会決議に基づき取得した自己株式の累計(2024年12月2日現在)

(1) 取得した株式の総数 199,000 株

(2) 株式の取得価額の総額 761,936,500 円



## 株主優待

## ●共同印刷オリジナルQUOカード

・基準日 : 毎年9月末日および3月末日

・対象者 : 基準日現在の株主名簿に記載または記録された、当社株式を100株以上または300株以上、

継続して6カ月以上保有※する株主さま

·贈呈時期:9月末日基準日 12月 | 旬送付予定

3月末日基準日 6月下旬送付予定

保有株式数	優待品の内容
100株以上300株未満	QUOカード 1,000円相当
300株以上	QUOカード 3,000円相当

※継続して6カ月以上保有とは、毎年3月末日および9月末日の基準日現在の株主名簿に同一株主番号で、100株以上または300株以上の保有記録が連続して記載または記録されていること

## ●共同印刷オリジナルカレンダー

·基準日 : 毎年3月末日

・対象者 : 基準日現在の株主名簿に記載または記録された、当社株式を100株以上保有する株主さまのうち、

送付を希望される方

·贈呈時期:12月中旬送付予定

# VII 資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた対応について



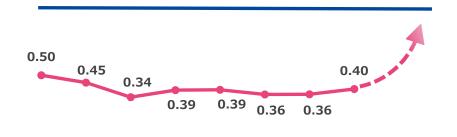
# 現状認識

·PBR: ROEが低位にあり、0.3~0.5倍で推移

·ROE:現中期経営計画は株主資本コストおよび事業環境を踏まえ5%を目標に設定

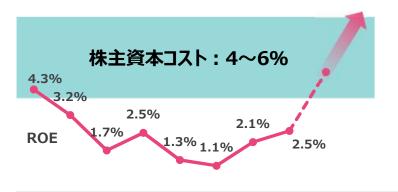
## PBR推移

## PBR1倍



2017/3 2018/3 2019/3 2020/3 2021/3 2022/3 2023/3 2024/3

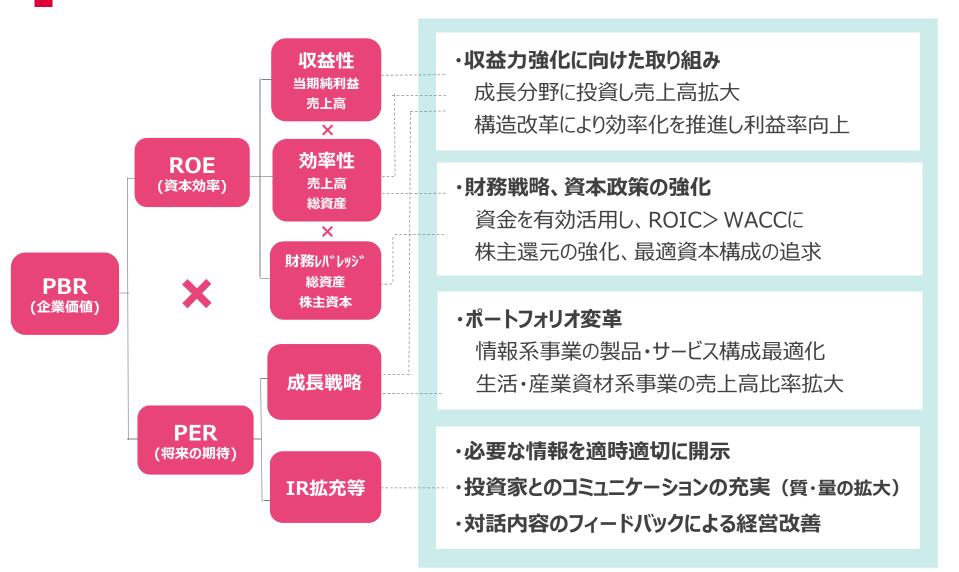
## ROEと株主資本コスト



FY2016 FY2017 FY2018 FY2019 FY2020 FY2021 FY2022 FY2023 FY2024



## 企業価値向上に向けた取り組みの方向性





# 収益力強化に向けた取り組み

## 10年後の事業ポートフォリオに向けて選択と集中を加速

### 情報系事業

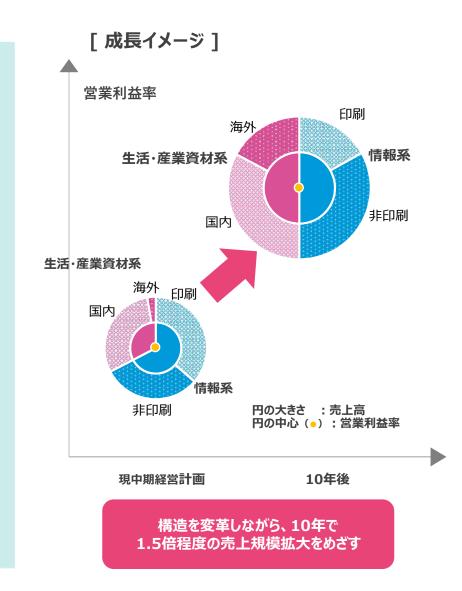
・事業規模は維持しつつ、情報伝達から情報加工・ 管理 (非印刷) へ重心を移し、質の高いサービスを提供

### 生活·産業資材系事業

- ・技術力をもとに高付加価値製品を開発・提案
- ・成長が見込まれる市場・事業分野への展開強化



- ·営業利益率向上
- ・次期中期経営計画ROE目標:8%以上に設定 (2025年春公表予定の次期中期経営計画において具体化)





## 財務戦略・資本政策の強化

## 政策保有株式の縮減

・次期中計期間内(2027年度末まで)に連結純資産対比15%未満へ

## 財務健全性を維持する範囲で必要に応じ有利子負債を活用

・当面の財務レバレッジは2.1倍程度を維持

### 積極的に投資

・基盤維持、構造改革含め10カ年で総額700億円規模

## 株主還元

・次期中計期間は配当性向(30%以上)に加え、株主資本配当率 (DOE)の目標を設定(DOEは3%前後を予定)



当資料は、投資家の皆さまに共同印刷株式会社への理解を深めていただくことを目的として、 経営や財務に関する情報を提供するものです。

以下の点をご了解の上、ご覧ください。

- ・業績予想などは、作成時点において当社が予測しうる範囲内で作成したものです。
- ・記載の業績予想などとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでいることをご承知ください。
- ・投資に関する決定は、投資家ご自身のご判断において行われるようお願いします。
- ・掲載内容については細心の注意を払っておりますが、不可抗力によって情報に誤りを生ずる可能性 もありますので、ご注意下さい。

### 【お問い合わせ先】

共同印刷株式会社 コーポレートコミュニケーション部

E-mail: koho@kyodoprinting.co.jp

Webサイト: https://www.kyodoprinting.co.jp/